

## 【重要】加盟クラブの除名処分に関するご報告

平素より、クラブディベロップメントリーグ(CDL)の活動および運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当リーグ運営委員会は、加盟クラブである「ZIPS BASKETBALL ACADEMY(以下、ZIPS)」に対し、CDLからの除名処分を決定いたしましたことをご報告申し上げます。

【処分の経緯と理由】 本年5月10日に行われたリーグ公式戦において、ZIPS所属選手による重大な暴力行為(危険行為)が発生いたしました。当リーグは本事象を極めて重く受け止め、当該選手への出場停止処分を科すとともに、クラブに対して再発防止策の実施および定期報告、ならびに被害選手への謝罪文の提出を義務付けました。

しかしながら、その後の経過において、当該クラブの管理体制に著しい機能不全が認められました。処分の前提を覆す重大な事態の変化(当該選手の帰国見込みなし・退団)があったにもかかわらず長期間にわたりリーグへの報告を怠ったこと、また、義務付けられていた被害選手への謝罪対応や実施報告が期日を過ぎても果たされなかった事実が確認されました。

これらの事態は、リーグが求めるガバナンスを大きく逸脱しており、参加クラブ間の信頼関係およびリーグ秩序を根底から損なう重大な規約違反・背信行為であると判断いたしました。

### 【処分内容】

1. ZIPS BASKETBALL ACADEMYのCDLからの除名
2. 本年度 PLAYOFF(プレイオフ)の出場権剥奪、およびチーム順位の取り消し(失格)

CDLは、公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)が推進する「クリーンバスケットボール」の理念に基づき、すべての競技者が安心・安全にバスケットボールに打ち込める環境づくりを最優先としております。いかなる理由であっても暴力行為は容認されず、また、事案発生後の不誠実な対応や組織としての管理責任の放棄に対しても、決して妥協することなく毅然とした対応をとってまいります。

関係者の皆様、ならびにリーグを応援して下さる皆様にはご心配をおかけいたしますが、子供たちが健全に成長できるフェアなバスケットボール環境を守るため、引き続きリーグ運営に尽力してまいります。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人CDL 代表理事 吉村拓